

# 特定非営利活動法人いわてNPOセンターのノウハウ移転事業について

## 1. 事業モデル名：地域の「在」を「財」に変える地域ツーリズム事業

### 2. 事業者の概要

補助事業者名：特定非営利活動法人 いわてNPOセンター

所在地：岩手県盛岡市

取り組んでる社会的課題：地方の農山漁村においては、現在まで第一次産業以外の地場産業が育たず、地域経済力の低下に伴い、地域の活力が失われている。

課題への取組：地域資源を活用した地域ツーリズム商品を開発し、都市住民へ販売することで、地域経済の復興を図る。

### 3. 事業モデルの革新的な点・成功の秘訣：

商業が成り立ちにくい地域において、地域の担い手主体の「郷土愛」と「理念」をベースとした志縁型コミュニティを形成し、一つのCBクラスタとして起業させる。また、ノウハウ移転団体を中核に各CBクラスタが連携し、都市住民を対象にした商品開発から販売までを手掛ける地域ツーリズムコンソーシアムを形成し、事業化する。さらに、それぞれのコミュニティの違いを磨き上げ、商品化することで、従来の箱モノ観光や、体験型観光とは質的に異なる都市住民のニーズに合った魅力的な商品を提供する。

### 4. 移転先：

- ① NPO法人尾上町蔵保存利活用促進会(青森県平川市)：町おこしからツーリズム事業の展開を実践しており、津軽全体への波及を期待。
- ② NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター(新潟県村上市)：地域連携による商品の魅力アップは目処がつき、数年後の事業化を目指している。
- ③ NPO法人佐田岬ツーリズム協会(愛媛県伊方町)：今年度ノウハウの移転を完了すれば3年以内に自立持続可能な運営が可能。
- ④ NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊(山形県小国町)：熱き思いを共有する志縁型コミュニティ。ノウハウ移転により自立持続可能な組織となり得る。
- ⑤ 柳沢まちづくり推進委員会(岩手県滝沢村)：組織マネジメント、ツーリズム商品造成、イベント企画や販売ノウハウの支援により今後自立持続可能。
- ⑥ 八幡まちづくり協議会(岩手県花巻市)：熱いリーダーに率いられ、NPO設立支援からマネジメント、商品造成、イベント企画力等のノウハウ移転を行うことで、自立した組織運営は可能。



フィールドワーク／青森県(H21.2)



商品品評会／新潟県(H20.8)



民泊推進セミナーWS／愛媛(H20.11)